

平成22年10月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年3月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション
 コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部长
 四半期報告書提出予定日 平成22年3月17日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 遠藤 文樹
 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第1四半期の業績(平成21年11月1日～平成22年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第1四半期	4,273	6.2	519	17.7	523	17.9	282	14.7
21年10月期第1四半期	4,024	—	441	—	444	—	246	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第1四半期	60.15	—
21年10月期第1四半期	52.43	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
22年10月期第1四半期	6,999	—	3,497	—	50.0	743.74
21年10月期	6,941	—	3,269	—	47.1	695.33

(参考) 自己資本 22年10月期第1四半期 3,497百万円 21年10月期 3,269百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	—	—	12.00	12.00
22年10月期	—	—	—	—	—
22年10月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年10月期の業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,513	4.2	571	△4.8	583	△2.5	309	△7.6	65.87
通期	12,600	3.6	570	2.1	573	2.8	312	2.2	66.36

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年10月期第1四半期	4,840,000株	21年10月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	22年10月期第1四半期	137,917株	21年10月期	137,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年10月期第1四半期	4,702,083株	21年10月期第1四半期	4,702,083株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、一昨年来の世界的な金融危機による景気低迷が続くなか、政府の緊急経済対策効果を背景に、一部の業種で持ち直しの兆しが見えるものの、デフレの影響等による個人消費や所得環境、雇用環境は厳しく、本格的な景気回復は依然として不明瞭な状況となっております。

このような状況のもと当社では、前事業年度末にオープンした甲府店、泉八乙女店の新店効果と当第1四半期会計期間に移転出店した江戸川店により店舗売上高は増加しました。また、業販部門の強化を行ったことで業販売上高は好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は4,273百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は519百万円（前年同期比17.7%増）、経常利益は523百万円（前年同期比17.9%増）、四半期純利益は282百万円（前年同期比14.7%増）と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは2,564百万円（前年同期比6.8%増）、ホイールは1,266百万円（前年同期比2.0%増）、用品は152百万円（前年同期比35.6%増）、作業料は289百万円（前年同期比8.0%増）となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は2,535百万円（前年同期比5.1%増）、通販売上高は1,141百万円（前年同期比2.9%増）、業販売上高は595百万円（前年同期比18.7%増）となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ58百万円増加の6,999百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ169百万円減少の3,502百万円、純資産は前事業年度末に比べ227百万円増加の3,497百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ70百万円減少の341百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、37百万円となりました。（前年同期は47百万円の使用）

これは主に、税引前四半期純利益516百万円、仕入債務の減少額711百万円、売上債権の減少額113百万円、法人税の支払額105百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、133百万円となりました。（前年同期は77百万円の使用）

これは主に、配当金支払のための別段預金への預入による支出48百万円、新規及び移転出店に係る有形固定資産の取得による支出97百万円などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、100百万円となりました。（前年同期は402百万円の獲得）

これは主に、短期借入金が増加額200百万円、長期借入金の返済による支出96百万円などによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における売上高及び利益は、ともに当初予想を上回る推移をいたしました。

今後の業績見通しにつきましては、日本経済景気回復感が未だ乏しいことから、現時点におきましては、平成21年12月15日に公表しました「平成21年10月期決算短信（非連結）」第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期末 (平成22年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	394,714	416,572
売掛金	415,168	545,741
商品	1,926,099	2,051,109
その他	753,949	463,538
流動資産合計	3,489,932	3,476,962
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,107,926	1,052,690
減価償却累計額	△398,765	△386,429
建物(純額)	709,161	666,261
土地	1,499,448	1,499,448
その他	1,108,000	1,079,289
減価償却累計額	△697,373	△688,758
その他(純額)	410,627	390,531
有形固定資産合計	2,619,237	2,556,241
無形固定資産	72,419	78,604
投資その他の資産	817,648	829,362
固定資産合計	3,509,304	3,464,208
資産合計	6,999,237	6,941,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	562,992	993,919
短期借入金	300,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	685,714	685,714
未払法人税等	235,891	114,044
賞与引当金	9,710	31,380
前受金	85,133	101,977
その他	289,509	213,982
流動負債合計	2,168,951	2,241,019
固定負債		
長期借入金	1,032,857	1,129,285
退職給付引当金	32,310	30,285
役員退職慰労引当金	208,125	208,125
その他	59,861	62,971
固定負債合計	1,333,154	1,430,667
負債合計	3,502,105	3,671,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	2,429,661	2,203,267
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	3,496,900	3,270,506
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	231	△1,023
評価・換算差額等合計	231	△1,023
純資産合計	3,497,131	3,269,483
負債純資産合計	6,999,237	6,941,170

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
売上高	4,024,007	4,273,026
売上原価	2,825,707	2,996,201
売上総利益	1,198,300	1,276,825
販売費及び一般管理費	756,426	756,875
営業利益	441,874	519,949
営業外収益		
受取利息	782	817
協賛金収入	7,023	7,208
その他	8,447	7,490
営業外収益合計	16,252	15,516
営業外費用		
支払利息	13,163	10,825
その他	800	800
営業外費用合計	13,963	11,625
経常利益	444,163	523,840
特別利益		
貸倒引当金戻入額	35	—
特別利益合計	35	—
特別損失		
有形固定資産除却損	193	126
店舗移転損失	—	7,590
特別損失合計	193	7,716
税引前四半期純利益	444,005	516,123
法人税等	197,484	233,305
四半期純利益	246,521	282,818

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	444,005	516,123
減価償却費	26,604	28,551
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,130	△21,670
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,607	2,025
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,325	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35	—
受取利息及び受取配当金	△782	△817
支払利息	13,163	10,825
有形固定資産除却損	193	126
店舗移転損失	—	7,590
売上債権の増減額(△は増加)	5,258	113,728
たな卸資産の増減額(△は増加)	198,090	125,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△588,611	△711,572
その他	60,934	8,143
小計	153,623	78,064
利息及び配当金の受取額	782	817
利息の支払額	△13,906	△11,229
法人税等の支払額	△188,360	△105,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,861	△37,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額(△は増加)	△49,919	△48,903
有形固定資産の取得による支出	△38,699	△97,089
無形固定資産の取得による支出	△2,936	△1,430
その他	14,272	13,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,282	△133,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	200,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△96,428	△96,428
配当金の支払額	△729	△107
その他	—	△3,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	402,842	100,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	277,698	△70,761
現金及び現金同等物の期首残高	269,600	411,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	547,298	341,161

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 販売の状況

(1) 品種別売上高

	前第1四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日		当第1四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	2,402,165	59.7	2,564,539	60.0
ホイール	1,241,817	30.9	1,266,989	29.6
用品	112,152	2.8	152,118	3.6
作業料	267,871	6.6	289,378	6.8
合計	4,024,007	100.0	4,273,026	100.0

(2) 経路別売上高

	前第1四半期累計期間 自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日		当第1四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	2,412,718	60.0	2,535,821	59.3
通販売上	1,109,197	27.5	1,141,238	26.7
業販売上	502,091	12.5	595,965	14.0
合計	4,024,007	100.0	4,273,026	100.0